

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年5月31日

2005年5月29日現在の概況：

5月29日に終わる週の気象は、高温・乾燥気象となった。最高気温はWillamette盆地では91～96度に達し、NC地区では84～97度であった。平均気温はNC地区では平年を3～5度F上回り、Willamette盆地では平年を5～11度上回った。降雨は州南部に有ったが、NC地区では殆ど記録されなかった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.6日（前週：3.5日）であった。農家は薬剤散布を精力的に行った。土壌水分は急激に減少し出した。

冬小麦は生殖生長期にあり、76%が出穂した。昨年並びに5年平均より早い進展である。前週までの降雨・低温の為生育は遅れていたが、高温の到来で出穂が早まった。各地で土壌水分の減少が小麦の作柄に直ちに現れた。Morrow郡の冬小麦並びに春小麦は前週までの降雨で良好な作柄であるが、現状を保つには今後の水分が重要であると報告された。春小麦の作柄評価が落ちた。

USDAの5月1日付け冬小麦の生産予想では、単位収量は昨年実績の61.0Bu/acrより悪く55.0bushels/acrであった。5月までの降水不足が予想を悪くしたと言える。詳細は別表の通り。

土壌水分：5月29日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	9	10	76	5
Subsoil (%)	15	27	56	2

小麦生育状況：5月29日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Planted (%)	100	100	100	99
Emerged (%)	93	91	95	89
Winter wheat Headed (%)	76	42	68	47

小麦の作柄状況：5月29日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat					
This week (%)	1	9	33	46	11
Last week (%)	1	6	29	54	10
Spring Wheat					
This Week (%)	0	12	38	45	5
Last Week (%)	9	15	36	36	4

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

5月1日付けUSDA発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre		Production 1,000 bushels		
	2004	2005	2004	2005	2003	2004	2005
Crop							
OR	780	840	61.0	55.0	47,940	47,580	46,200
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	1,716,721	1,499,434	1,590,862

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>